

社会的養護関係施設第三者評価
評価結果報告書

施設名 : ピューパホール
(乳児院)

評価実施期間 2017年7月3日 ~ 2018年3月31日

実地(訪問)調査日 2017年9月13~14日

2018年3月27日

特定非営利活動法人
播磨地域福祉サービス第三者評価機構

第三者評価結果の公表事項(乳児院)

① 第三者評価機関名

特定非営利活動法人
播磨地域福祉サービス第三者評価機構

② 評価調査者研修修了番号

S25065
S15135
S15046

③ 施設の情報

名称：ピューパホール		種別：乳児院
代表者氏名：八木 健		定員(利用人数)： 30 名
所在地：〒 670-0873 姫路市八代東光寺町13-11		
TEL：079-282-2692	E-mail： pupahall@pop01.odn.ne.jp	
【施設の概要】		
開設年月日 昭和31年6月15日		
経営法人・設置主体(法人名等)：社会福祉法人 姫路乳児院		
職員数	常勤職員： 33 名	非常勤職員 6 名
専門職員	(専門職の名称)	
	看護師 保育士	
	栄養士 調理員	
	家庭支援専門相談員	
	心理療法担当職員	
	里親支援専門相談員	
	施設長 事務長	
施設・設備の概要	(居室数)	(設備等)
	個室	
	2人部屋 1室	
	3人以上 4室	

④理念・基本方針

理念 愛と共感のもと、命を守り、命を育てる

基本方針 ◎利用者一人一人の尊厳を守りつつ、心身ともにすこやかに育つよう支援する。
◎いつでも、誰でも、どんなことでも利用していただける、ぬくもりのある心のオアシスをめざす。

⑤施設の特徴的な取組

様々な発達に応じて関わり方を変化させ、病気に対しても、マンパワーで入院付き添い等、課題に向き合っています。

⑥第三者評価の受審状況

評価実施期間	平成 29 年 7 月 3 日（契約日） ～ 平成 30 年 3 月 31 日（評価結果確定日）
受審回数（前回の受審時期）	1 回（平成 26 年度）

⑦総評

◇特に評価の高い点

- **職員の就業状況に配慮がなされています。**
施設長は、常に職員の心身の健康や仕事以外の生活環境にも気を配られ、社員旅行や長期誕生日休暇を実施するなど、人材定着に向けて働きやすい職場づくりに取組まれています。
- **地域との交流を広げるためのさまざまな取組が行われています。**
地域との関わりについての考え方は中・長期計画に示されており、施設の行事には地域の方やボランティアの参加、地域の祭りには施設長が参加するなど、交流を広げるための取組がなされています。また、子育てに関する学習会を月に 1 回開催しており、地域の子どものいる家庭の支援も行われています。
- **子ども優先の支援が提供されています。**
職員は家族から離れて生活しなければならない環境を察し、日常の生活のプログラムの工夫や、子どもの成長に合わせた取り組みがなされています。細やかな気づきを大切に、子ども優先の支援が提供されています。

◇改善を求められる点

○ 中・長期計画の具体的な策定が必要です。

理念・方針の実現に向けた具体的な取組を明確にされ、養育・支援の課題への取組、組織体制、設備の整備、人材育成等、多角的な角度から具体的な成果を設定することにより、評価・見直しが行える内容の工夫が望まれます。

○ 多様な子供を支援するための環境を整備していくことが望まれます。

現在、施設においては、年齢の大きい子どもをはじめ、障害のある子どもや多国籍の子どもなど、多様な子どもを支援しています。その支援をさらに充実していくためには、多様な子どもに対応していくためのプログラムや環境を整備していくことが重要です。

○ 事業や取組を周知し、情報を共有していくプロセスを明確にしていくことが望まれます。

施設においては園長をはじめ、個々のスタッフの高いスキルのもと、支援が行われています。今後、施設全体として、質の高い支援を継続していくためには、で事業や取組を周知し、情報を共有していくプロセスを明確にしていくことで、施設側の思いを明確に伝え、共有していくことが期待されます。

⑧第三者評価結果に対する施設のコメント

ご指摘いただいた部分の改善を図り、児童処遇の向上に努めます。

⑨第三者評価結果

別紙の「第三者評価結果」に記載している事項について公表する。

第三者評価結果（乳児院）

共通評価基準（45項目）

評価対象Ⅰ 養育・支援の基本方針と組織

I-1 理念・基本方針

		第三者評価結果
I-1-(1) 理念、基本方針が確立・周知されている。		
①	I-1-(1)-① 理念、基本方針が明文化され周知が図られている。	a (b) c
<p><コメント></p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 事業計画の中で、理念、基本方針が明文化され、毎年職員総会において説明されています。また、入所時に、保護者に事業計画を渡されています。 ○ 今後は、事業計画だけでなく、パンフレットや広報誌、ホームページ等に明記され、施設の養育・支援の考え方を職員、保護者、関係機関や地域住民に広く周知する取組が望まれます。 		

I-2 経営状況の把握

		第三者評価結果
I-2-(1) 経営環境の変化等に適切に対応している。		
②	I-2-(1)-① 施設経営をとりまく環境と経営状況が的確に把握・分析されている。	a (b) c
<p><コメント></p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 社会福祉事業全体の動向について全国乳児福祉協議会のニュースや社会福祉法人経営者協議会等で情報を把握されています。福祉業界の経営環境の変化に対応されていますが、手の届く範囲での事業展開を心掛けておられます。 ○ 今後は、中・長期計画に把握された具体的な情報やデータを基にビジョンを明確に示し、組織体制や設備の整備、人材育成、財務状況の現状分析を適切に取組まれることに期待します。 		
③	I-2-(1)-② 経営課題を明確にし、具体的な取組を進めている。	a (b) c
<p><コメント></p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 経営環境や設備の整備、財務状況については、施設長が事務長と相談され、経営状況を年3回の理事会において報告しアドバイスを頂いています。 ○ 施設長は、中・長期的に事業展開を考えられて事業運営をされていますが、今後は、事業計画策定時に経営課題や問題点などを明確にし、職員とともに改善に向けて具体的な取組を進められることを期待します。 		

I-3 事業計画の策定

		第三者評価結果
I-3-(1) 中・長期的なビジョンと計画が明確にされている。		
4	I-3-(1)-① 中・長期的なビジョンを明確にした計画が策定されている。	a (b)・c
<p><コメント></p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 理念や基本方針、目標は中・長期計画に掲げてあり、見直し等も行われています。 ○ 中・長期計画に、数値目標や具体的な成果等を設定するなど、実施状況の評価を行う内容には至っていません。今後は、中・長期計画に理念や基本方針を具体化する事業や収支計画を盛り込むなど、明確な計画の作成が望まれます。 		
5	I-3-(1)-② 中・長期計画を踏まえた単年度の計画が策定されている。	a (b)・c
<p><コメント></p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 単年度計画は、職員と話し合わせ、年度目標として設定されています。振り返りを行い次年度の目標に繋げています。 ○ 今後は、中・長期計画に基づいた数値目標や成果を具体的に設定する等、実施状況を評価し改善出来る年次計画が望まれます。 		
I-3-(2) 事業計画が適切に策定されている。		
6	I-3-(2)-① 事業計画の策定と実施状況の把握や評価・見直しが組織的に行われ、職員が理解している。	a (b)・c
<p><コメント></p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 事業計画は、主任クラスの職員の意見を集約し策定され、職員総会に職員に配布されています。見直しに当たっては時期が予定されていますが、実施に至っていませんでした。 ○ 今後は、事業計画の評価時に、設定した目標や経営課題を確認するなど、職員とともに検討された結果を記録に残す取り組みが望まれます。 		
7	I-3-(2)-② 事業計画は、保護者等に周知され、理解を促している。	a (b)・c
<p><コメント></p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 事業計画は、入所時に保護者に他の入所説明文書と共に説明され、配布されています。行事計画に記載されている誕生会や行事等の案内を送る際にも、事業所の特性に配慮しながら行われています。 ○ 今後は、事業計画に、子どもの生活に係る大切な養育、居住環境整備、職員教育など、明確に示すなど、保護者にも分かり易い内容と、理解しやすい工夫への取組が望まれます。 		

I-4 養育・支援の質の向上への組織的・計画的な取組

		第三者評価結果
I-4-(1) 質の向上に向けた取組が組織的・計画的に行われている。		
8	I-4-(1)-① 養育・支援の質の向上に向けた取組が組織的に行われ、機能している。	a (b)・c
<p><コメント></p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 定期的に第三者評価を受診されており、自己評価結果表を使用され、養育の重点項目として課題を取り上げ、評価・改善する仕組みに取組まれています。 ○ 今後は、評価記録の整備や課題達成のまとめを整理し、分析・検討、周知する方法をより工夫されることが望まれます。 		
9	I-4-(1)-② 評価結果にもとづき組織として取り組むべき課題を明確にし、計画的な改善策を実施している。	a (b)・c
<p><コメント></p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 自己評価した結果に基づいて課題を整理し、文章化したものを掲示されています。 ○ 今後は、職員参画のもと改善計画を明確に策定し、改善の実施状況を確認し必要に応じて見直しを行う体制整備が必要です。 		

評価対象Ⅱ 施設の運営管理

Ⅱ-1 施設長の責任とリーダーシップ

		第三者評価結果
Ⅱ-1-(1) 施設長の責任が明確にされている。		
10	Ⅱ-1-(1)-① 施設長は、自らの役割と責任を職員に対して表明し理解を図っている。	a (b) c
<p><コメント></p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 施設長は自らの役割や責任において、職員に対して口頭や行動で示されており、改めて文章としては明記されていませんが、責任と熱意をもって業務遂行されています。 ○ 今後は、広報誌等で施設長自らの役割や責任について表明するとともに、不在時の権限委任等の明示が望まれます。 		
11	Ⅱ-1-(1)-② 遵守すべき法令等を正しく理解するための取組を行っている。	a (b) c
<p><コメント></p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 施設長は法令遵守した経営運営を心掛け、研修に参加し幅広い知識を広げられています。 ○ 今後は、職員に遵守すべき法令について周知を行い、遵守するための取組に期待します。 		
Ⅱ-1-(2) 施設長のリーダーシップが発揮されている。		
12	Ⅱ-1-(2)-① 養育・支援の質の向上に意欲をもち、その取組に指導力を発揮している。	a (b) c
<p><コメント></p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 施設長は、全職員が参加する、月1回の処遇会議に参加し、養育・支援の質について課題を検討されて指導力を発揮されています。毎晩夜間の見回りを行い、夜間体制を確認されています。 ○ 今後は、職員の外部研修や内部での研修の年間計画をたて、職員教育の充実を図り、養育・支援の質向上の具体的な取組が望まれます。 		
13	Ⅱ-1-(2)-② 経営の改善や業務の実行性を高める取組に指導力を発揮している。	a (b) c
<p><コメント></p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 職員アンケートを行い、業務改善委員会にて働きやすい環境整備に取組まれています。 ○ 今後は、人事、労務、財務等の観点から分析を行い、職員全体で事業運営を目指す取組が望まれます。 		

II-2 福祉人材の確保・育成

		第三者評価結果
II-2-(1) 福祉人材の確保・育成計画、人事管理の体制が整備されている。		
14	II-2-(1)-① 必要な福祉人材の確保・定着等に関する具体的な計画が確立し、取組が実施されている。	a・(b)・c
<p><コメント></p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 現状、退職者は少なく、退職希望者があった場合に人材の確保を考えられています。定着に関しては、職員のやりがい等が感じられる職場環境整備に取組まれています。 ○ 今後は、人材体制に関する考え方を明確にし、福祉人材確保や育成について計画策定が望まれます。 		
15	II-2-(1)-② 総合的な人事管理が行われている。	a (b) c
<p><コメント></p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 事業計画の中で「期待する職員像」を記載し、給与規定の中で人事基準が示されています。 ○ 総合的な人事管理（キャリアパス）の導入等についての予定や必要性については、今のところ意向はありませんが、今後は一定の基準によって、「期待する職員像」の達成を明確にする一定の基準や処遇に反映する仕組みづくりが望まれます。 		
II-2-(2) 職員の就業状況に配慮がなされている。		
16	II-2-(2)-① 職員の就業状況や意向を把握し、働きやすい職場づくりに取り組んでいる。	a (b) c
<p><コメント></p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 有給休暇取得を把握し、健康診断や予防接種など実施されています。長期5日間の誕生日休暇の実施や、ワーク・ライフバランス（夜勤の回数等）に配慮するなど、職員の意向に基づいた働きやすい職場づくりに関する取組が行われています。 ○ 今後は、施設長が、職員との個別面談の機会を設け、仕事上の悩みや個人的な相談を聞くことによって、更にやりがいや魅力ある職場づくりに取組まれることを望みます。 		
II-2-(3) 職員の質の向上に向けた体制が確立されている。		
17	II-2-(3)-① 職員一人ひとりの育成に向けた取組を行っている。	a (b) c
<p><コメント></p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 昨年末に、職員一人ひとりの年間目標が策定され、今年度9月3月に振り返りを行う予定になっています。 ○ 設定に当たっては、目標項目や設定期間、水準を明確にし、年度当初・中間段階・年度末等に面接等で、目標達成や取り組み状況を行い、職員のモチベーションを高め、養育の質向上に取組まれることに期待します。 		

18	Ⅱ-2-(3)-② 職員の教育・研修に関する基本方針や計画が策定され、教育・研修が実施されている。	a・(b)・c
<p><コメント></p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 事業計画に「期待する職員像」を記載し、研修予定表を策定して職員研修が行われています。前年度の研修計画を基に組み直しが行われています。 ○ 今後は、年度ごとに、継続的な研修の開催や外部研修への参加等、目的を明確にした研修計画策定が望まれます。 		
19	Ⅱ-2-(3)-③ 職員一人ひとりの教育・研修の機会が確保されている。	a・(b)・c
<p><コメント></p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 職種別の外部研修や内部研修が行われており、階層別研修では、新人研修や、勉強会という形で段階的な職員教育が行われています。 ○ 今後は、研修参加者の報告や評価・分析された記録をまとめ、次回の研修計画に反映することで、職員の自己研鑽に必要な環境を確保していく取組が望まれます。 		
Ⅱ-2-(4) 実習生等の養育・支援に関わる専門職の研修・育成が適切に行われている。		
20	Ⅱ-2-(4)-① 実習生等の養育・支援に関わる専門職の教育・育成について体制を整備し、積極的な取組をしている。	a・(b)・c
<p><コメント></p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 実習生の養育支援マニュアルを整備し、基本姿勢を明示されています。実習生に対しては、指導者研修に参加し、事前に学校と打ち合わせを行うなど、積極的な取組がなされています。 ○ 現在は、保育資格所得の為の実習生のみを受け入れされていますが、今後は幅広い専門職の人材育成について、体制整備の取組に期待します。 		

Ⅱ-3 運営の透明性の確保

		第三者評価結果
Ⅱ-3-(1) 運営の透明性を確保するための取組が行われている。		
21	Ⅱ-3-(1)-① 運営の透明性を確保するための情報公開が行われている。	a・(b)・c
<p><コメント></p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 毎月配布される広報誌に基本方針や業務内容を明示されています。また、施設を取り囲んだブロック塀に設置された掲示板に苦情・相談の体制や「おたより」が掲示され、地域に向けた子育て学習会の案内を行うなど、地域福祉向上のための取組が行われています。 ○ 事業所独自のホームページ開設には至っていません。第三者評価受審結果や事業や財務に関する情報を公開し、経営の透明性を図る取組が望まれます。 		

22	Ⅱ-3-(1)-② 公正かつ透明性の高い適正な経営・運営のための取組が行われている。	a (b)・c
<p><コメント></p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 施設における事務・経理については、経理規定において明記され、医務室に備え付けています。職務分掌で権限や責任を明記し、職員には入職時に説明されています。監事監査や、会計基準の変更時には会計士からのアドバイスを受けられています。 ○ 今後は、質の高い養育・支援の基盤となる経営・運営について、職員全体に周知され、定期的な外部監査の実施等を行うことにより、透明性の高い適正な経営・運営のための体制づくりが望まれます。 		

Ⅱ-4 地域との交流、地域貢献

		第三者評価結果
Ⅱ-4-(1) 地域との関係が適切に確保されている。		
23	Ⅱ-4-(1)-① 子どもと地域との交流を広げるための取組を行っている。	a (b)・c
<p><コメント></p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 地域との関わり方については中・長期計画に考え方を明記されており、施設の行事にはボランティアの受入れや、自治会の方も参加され、子どもとの交流が図られています。 ○ 地域の行事には施設長が役員として参加するなど、施設と地域との交流を広げる取組は行われていますが、地域の行事に子どもが参加できるような体制づくりが期待されます。 		
24	Ⅱ-4-(1)-② ボランティア等の受入れに対する基本姿勢を明確にし体制を確立している。	a (b)・c
<p><コメント></p> <ul style="list-style-type: none"> ○ ボランティアの受け入れ方針はマニュアルに明記されており、誓約書を交わして受け入れが行われています。実習生やトライやるウィークの中学生に関しても、基本姿勢は明文化されています。 ○ 今後は、基本姿勢をもとに研修を行うなど、受け入れに対する体制の整備が望まれます。 		
Ⅱ-4-(2) 関係機関との連携が確保されている。		
25	Ⅱ-4-(2)-① 施設として必要な社会資源を明確にし、関係機関等との連携が適切に行われている。	a (b)・c
<p><コメント></p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 関係機関との連携は家庭支援専門員が中心となり、里親支援は月1回、必要があれば随時連絡を取って、養支援会議にて協働しています。 ○ 家庭復帰等アフターケアへの取組は児童相談所との協力体制で行われていますが、施設の特性上、地域でのネットワーク化への取組は行われていません。 		

Ⅱ-4-(3) 地域の福祉向上のための取組を行っている。		
26	Ⅱ-4-(3)-① 施設が有する機能を地域に還元している。	a・(b)・c
<p><コメント></p> <ul style="list-style-type: none"> ○ セタまつりで地域住民との交流があり、月に1回子育てに関する学習会も行われています。 ○ 防災マップにはAEDが設置している事は記載されていますが、災害時の地域における明確な役割を確認されることが望まれます 		
27	Ⅱ-4-(3)-② 地域の福祉ニーズにもとづく公益的な事業・活動が行われている。	a・(b)・c
<p><コメント></p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 子育てに関する学習会は事業計画にも明記され、月に1回行われるとともに、随時電話による子育て相談を行っている。 ○ 今後は、福祉ニーズ把握のためにアンケート調査を行う等、ニーズ把握にもとづいた学習会を行うことが望まれます。 		

評価対象Ⅲ 適切な養育・支援の実施

Ⅲ-1 子ども本位の養育・支援

		第三者評価結果
Ⅲ-1-(1) 子どもを尊重する姿勢が明示されている。		
28	Ⅲ-1-(1)-① 子どもを尊重した養育・支援提供について共通の理解をもつための取組を行っている。	a (b) c
<p><コメント></p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 職員は「より適切なかかわりをするためのチェックポイント」を使用して年2回自己チェックを行い、勉強会が行われています。 ○ 権利擁護のヒヤリハットについては、年1回程度勉強会が行われていますが、事例に対しての把握、評価、対応は行われていないため、体制の整備が望まれます。 		
29	Ⅲ-1-(1)-② 子どものプライバシー保護等の権利擁護に配慮した養育・支援提供が行われている。	a (b) c
<p><コメント></p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 月齢が小さい子どもが多いため、プライバシーという概念がなく規定はありませんが、前回の第三者評価の結果を踏まえ、年齢の大きい子どものために、一番奥のトイレに目隠し扉を付けています。虐待防止のマニュアルを整備し、研修も行われています。 ○ 今後はプライバシー保護に関してもマニュアルや規定の整備をし、それを職員や保護者へ周知していく取組が必要です。 		
Ⅲ-1-(2) 養育・支援の提供に関する説明と同意（自己決定）が適切に行われている。		
30	Ⅲ-1-(2)-① 保護者等に対して養育・支援選択に必要な情報を積極的に提供している。	a (b) c
<p><コメント></p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 入所時に理念や基本方針、事業計画が記載された資料を保護者に配布しており、年に1度見直しも行われています。 ○ 今後は、言葉の理解が難しい方へ絵や写真の使用や、振り仮名を付ける等の工夫が望まれます。 		
31	Ⅲ-1-(2)-② 養育・支援の開始・過程において保護者等にわかりやすく説明している。	a (b) c
<p><コメント></p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 養育・支援の開始、家庭復帰の決定は、こども家庭センターが行っています。施設としての決定はあまり見られませんが、退所時には子どもの成長記録を保護者に渡しています。 ○ 今後は、多国籍や障害のある家族への工夫や配慮について、ルール化されることが望まれます。 		

32	Ⅲ-1-(2)-③ 措置変更や地域・家庭への移行等にあたり養育・支援の継続性に配慮した対応を行っている。	a・(b)・c
<p><コメント></p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 措置変更の場合は慣らし保育を実施し、文書で引き継ぎは行われていますが、定められた手順は確認できませんでした。 ○ 家庭復帰については一時帰省時に家庭訪問、家庭復帰時に相談窓口を記載した文書を渡し、担当職員や家庭支援専門相談員が相談に応じています。 		
Ⅲ-1-(3) 子どもの満足の向上に努めている。		
33	Ⅲ-1-(3)-① 子どもの満足の向上を目的とする仕組みを整備し、取組を行っている。	a・(b)・c
<p><コメント></p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 子どもの満足度に関しては、日々の関わりからの中で聞かれており、保護者に関しては面会時の記録で、満足度を把握しています。 ○ 自己他者評価の振り返りを年3回、処遇会議を毎月行うなど改善の取組は行われています。 ○ 今後は、保護者の満足度調査を行い、それを分析・検討した結果にもとづいて、具体的な改善をするような仕組み作りが必要です。 		
Ⅲ-1-(4) 子どもが意見等を述べやすい体制が確保されている。		
34	Ⅲ-1-(4)-① 苦情解決の仕組みが確立しており、周知・機能している。	a・(b)・c
<p><コメント></p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 苦情解決の体制は整備されており、保護者に対してアンケートが実施されています。苦情内容は受付から解決までの記録があり、苦情を申し出た保護者に対してもフィードバックされ、掲示板にも公表されています。 ○ 今後は、苦情相談内容にもとづいた養育・支援の質の向上につながる取組に期待します。 		
35	Ⅲ-1-(4)-② 保護者等が相談や意見を述べやすい環境を整備し、保護者等に周知している。	a・(b)・c
<p><コメント></p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 相談室は事務所の奥にあることで、相談しやすい環境が確保され、意見箱は玄関に設置されています。 ○ 相談に関する文章は、苦情解決委員会の中に記載されていますが、今後は、わかりやすい相談窓口として設置し、保護者へ周知されることが望まれます。 		

36	Ⅲ-1-(4)-③ 保護者等からの相談や意見に対して、組織的かつ迅速に対応している。	a・(b)・c
<p><コメント></p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 意見箱は玄関に設置されており、保護者からの相談や意見の傾聴に努められています。 ○ 今後は、相談や意見を受けた際の手順や記録方法、検討方法等を定めたマニュアルの整備が望まれます。 		
Ⅲ-1-(5) 安心・安全な養育・支援の提供のための組織的な取組が行われている。		
37	Ⅲ-1-(5)-① 安心・安全な養育・支援の提供を目的とするリスクマネジメント体制が構築されている。	a・(b)・c
<p><コメント></p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 事故防止対策委員会が設置され、定期的に会議も行われています。事故発生時の対応についてはマニュアルに記載されており、フローチャートも確認できました。 ○ 今後は、職員に対して外部研修だけではなく内部研修を行うことや、事例を収集し、事故防止策等の実施状況や実効性について、定期的に評価、見直しを行う仕組みの確立が望まれます。 		
38	Ⅲ-1-(5)-② 感染症の予防や発生時における子どもの安全確保のための体制を整備し、取組を行っている。	a・(b)・c
<p><コメント></p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 感染症の予防と発生時の対策については、病気への対応としてマニュアルに記載されています。看護会議の会議録は、職員がいつでも確認できるよう医務室に掲示されています。 ○ 今後は、マニュアルや感染症予防策等の定期的な評価・見直しをする事が必要と思われます。 		
39	Ⅲ-1-(5)-③ 災害時における子どもの安全確保のための取組を組織的に行っている。	a・(b)・c
<p><コメント></p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 災害時における対応については、防火訓練を月1回、対策委員会が年2回行われています。備蓄については3日分用意され、年3回点検が行われています。 ○ 今後は、他機関や地域と連携するなど、体制を整備することが望まれます。 		

Ⅲ-2 養育・支援の質の確保

		第三者評価結果
Ⅲ-2-(1) 提供する養育・支援の標準的な実施方法が確立している。		
40	Ⅲ-2-(1)-① 提供する養育・支援について標準的な実施方法が文書化され養育・支援が提供されている。	a (b)・c
<p><コメント></p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 標準的な実施方法は、新任研修で配布される養育支援マニュアルに記載され、先輩職員とともに3日間の研修を行う事で、職員への理解が図られています。 ○ 今後は、プライバシー保護に関する取組を明確にし、マニュアルの整備をすることが望まれます。 		
41	Ⅲ-2-(1)-② 標準的な実施方法について見直しをする仕組みが確立している。	a (b)・c
<p><コメント></p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 標準的な実施方法については、業務改善アンケートを年1回実施し、マニュアルに反映されています。 ○ 今後は、より多くの意見を収集するためにも、手順や方法の工夫が望まれます 		
Ⅲ-2-(2) 適切なアセスメントにより養育・支援実施計画が策定されている。		
42	Ⅲ-2-(2)-① アセスメントにもとづく個別的な養育・支援実施計画を適切に策定している。	a (b)・c
<p><コメント></p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 自立支援計画については、家庭支援専門員が子ども家庭センターとの連携のもと、立てています。乳児院という特性上、アセスメントが難しいという課題はありますが、処遇会議や担当職員等に話を聞くなどして情報収集をされています。 ○ ケースに関しては子ども家庭センターが中心になって動くため、支援会議には可能な限り参加されています。 		
43	Ⅲ-2-(2)-② 定期的に養育・支援実施計画の評価・見直しを行っている。	a (b)・c
<p><コメント></p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 自立支援計画に変更がある場合には、家庭支援専門員が変更箇所を担当職員に伝え、支援に反映されているか確認をされています。 ○ 今後は、保護者に同意を得る仕組みや意向把握の手順を定められ、職員に周知していく事が必要かと思われます。 		

Ⅲ-2-(3) 養育・支援実施の記録が適切に行われている。		
44	Ⅲ-2-(3)-① 子どもに関する養育・支援実施状況の記録が適切に行われ、職員間で共有化している。	a・(b)・c
<p><コメント></p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 記録については、家庭支援専門員の指導のもと表記の統一が図られており、必要な情報は医務室に掲示して共有が図られています。 ○ 職員連絡ノートを使って職員間の共有が図られていますが、周知徹底のために確認印をとるなどの工夫が望まれます。 		
45	Ⅲ-2-(3)-② 子どもに関する記録の管理体制が確立している。	a・(b)・c
<p><コメント></p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 子どもに関する記録の規定は管理規定に記載されており、責任者も定められています。各部屋に個人ファイルが置いてあるため、背表紙にカバーをかける等の工夫もうかがえました。 ○ 今後は、個人情報の取り扱いについて研修をするなど、継続した職員へ周知する取組が必要かと思われます。 		

内容評価基準（22項目）

※「共通評価基準評価対象Ⅲ適切な養育・支援の実施」の付加項目

A-1 子ども本位の養育・支援

		第三者評価結果
A-1-(1) 子どもの尊重と最善の利益の考慮		
A①	A-1-(1)-① 社会的養護が子どもの最善の利益を目指して行われることを職員が共通して理解し、日々の養育・支援において実践している。	a・ b ・c
<p><コメント></p> <p>○子どもの最善の利益について理解されたうえでの支援がされています。措置の対応ということもあり、施設側の取り組みが、反映しにくいこともうかがえました。</p>		
A-1-(2) 被措置児童等虐待対応		
A②	A-1-(2)-① いかなる場合においても体罰や子どもの人格を辱めるような行為を行わないよう徹底している。	a・ b ・c
<p><コメント></p> <p>○虐待が起こらない取り組みは確認できましたが、体罰などがあった場合の対応について明らかにしていく取り組みが必要と思われます。</p>		
A③	A-1-(2)-② 子どもに対する不適切なかかわりの防止と早期発見に取り組んでいる。	a・ b ・c
<p><コメント></p> <p>○虐待を起こさない関わりについては確認しましたが、不適切な関わり方についての理解の統一が望まれます。</p> <p>○職員に報告や連絡等伝えないといけない事を整理し、全員に周知できるような取り組みが重要と思われます。</p>		
A④	A-1-(2)-③ 被措置児童等虐待の届出・通告に対する対応を整備し、迅速かつ誠実に対応している。	a・b・ c
<p><コメント></p> <p>○非措置児童等虐待の届出等の書類を整備し、非措置児童虐待対応ガイドラインの周知をすることが必要と思われます。</p>		

A-2 養育・支援の質の確保

		第三者評価結果
A-2-(1) 養育・支援の基本		
A⑤	A-2-(1)-① 子どものころによりそいながら、子どもとの愛着関係を育んでいる。	a <input checked="" type="radio"/> b · c
<p><コメント></p> <p>○ 担当制で関わり熱心な支援が確認できましたが、入院等の対応をしないといけない状況になると施設内の職員不足が発生し、対応が難しくなる現状が見られました。</p>		
A⑥	A-2-(1)-② 子どもの生活体験に配慮し、豊かな生活を保障している。	<input checked="" type="radio"/> a · b · c
<p><コメント></p> <p>○ 遊びは季節に応じた遊びなどが確認できました。玩具は個人の物、施設の所有物等必要に応じた玩具の提供が確認できました。食器については陶器で、全員同じもので賄われていました。</p>		
A⑦	A-2-(1)-③ 子どもの発達を支援する環境を整えている。	a <input checked="" type="radio"/> b · c
<p><コメント></p> <p>○ 自己評価や、スーパービジョン等を取り入れたり、個別のケース会議なども行い、子どもの発達を支援する取り組みがされています。</p> <p>○ 個別計画が一部分の子どもにしかなかったため、全員の子どもに対し作成することが望まれます。</p>		
A-2-(2) 食生活		
A⑧	A-2-(2)-① 乳幼児に対して適切な授乳を行っている。	<input checked="" type="radio"/> a · b · c
<p><コメント></p> <p>○ 個人の成長に合った授乳がされています。引継ぎも丁寧に行われていますが、基本となるマニュアルを整備し、より一層の統一した支援が望まれます。</p>		
A⑨	A-2-(2)-② 子どもの生活体験に配慮し、豊かな生活を保障している。	<input checked="" type="radio"/> a · b · c
<p><コメント></p> <p>○ 栄養士を中心に調理員、職員の連携で食事の提供がされていることが確認できました。食が進まない子どもに対しても環境の工夫をしながら食べられるようにされています。</p>		

A⑩	A-2-(2)-③ 食事がおいしく楽しく食べられるよう工夫している。	Ⓐ・b・c
<p><コメント></p> <p>○ 食育に配慮した献立などを確認できましたが、子どもの意見の反映は確認できませんでした。今後は、子どもの意見を取り入れるなどの工夫を行い、献立を作成することを期待します。</p>		
A⑪	A-2-(2)-④ 栄養管理に十分な注意を払っている。	Ⓐ・b・c
<p><コメント></p> <p>○ 他の福祉施設等の調理の工夫を参考にして献立が作成されていることが確認できました。</p> <p>○ 子どもたちがどのように調理がされるのかをいつでも見られる環境や、子どもがおやつを作る環境もあり、丁寧な食育の取り組みがされています。</p>		
A-2-(3) 衣生活		
A⑫	A-2-(3)-① 気候や場面、発達に応じた清潔な衣類を用意し、適切な衣類管理を行っている。	Ⓐ・b・c
<p><コメント></p> <p>○ 季節や子どもの成長に合った衣服を用意し、シーツなどは毎日洗濯するなど清潔な環境であることが確認できました。</p>		
A-2-(4) 睡眠		
A⑬	A-2-(4)-① 乳幼児が快適に十分な睡眠をとれるよう取り組んでいる。	Ⓐ・b・c
<p><コメント></p> <p>○ エアコンを活用し適温、適湿に配慮されています。眠りにつきやすいようにオルゴールなどを使用しています。</p>		
A-2-(5) 入浴・沐浴		
A⑭	A-2-(5)-① 快適な入浴・沐浴ができるようにしている。	a・Ⓑ・c
<p><コメント></p> <p>○ 心身の状況を確認しながら、毎日入浴をすることが出来ています。</p> <p>○ 入浴前後の衣類の着脱などの環境を整え、プライバシーに配慮することが必要と思われます。</p>		

A-2-(6) 排泄		
A⑮	A-2-(6)-① 乳幼児が排泄への意識を持てるように工夫している。	a・ (b) ・c
<p><コメント></p> <ul style="list-style-type: none"> ○ おむつの交換は適切な対応がされています。 ○ トイレで排泄するとき個々のトイレにドアがなかったので、トイレの環境を整えプライバシーに配慮することが必要と思われれます。 		
A-2-(7) 遊び		
A⑯	A-2-(7)-① 発達段階に応じて乳幼児が楽しく遊べるように工夫している。	(a) ・b・c
<p><コメント></p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 年齢別や個別に遊べるよう工夫されている事が確認できました。また就学の準備として机で遊ぶ事で勉強等に取り組めるような配慮がされています。 		
A-2-(8) 健康		
A⑰	A-2-(8)-① 一人ひとりの乳幼児の健康を管理し、異常がある場合には適切に対応している。	a・ (b) ・c
<p><コメント></p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 突然死予防の取り組みや、日々の健康管理がされていることが確認できました。 ○ 健康に関する取り組みを明確にしている書類が見当たりませんでした。今後健康管理に関する方針等を整理し、マニュアル等を作成することが必要と思われれます。 		
A⑱	A-2-(8)-② 病・虚弱児等の健康管理について、日常生活上で適切な対応策をとっている。	a・ (b) ・c
<p><コメント></p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 低体重による疾患児童に対応されていることなどが確認できました。 ○ 誤薬等のケースはありませんでしたが、今後も安全な状態で服薬等ができるように、薬等に関する管理の仕方などを検討することが必要と思われれます。 		
A-2-(9) 心理的ケア		
A⑲	A-2-(9)-① 乳幼児と保護者等に必要な心理的支援を行っている。	a・ (b) ・c
<p><コメント></p> <ul style="list-style-type: none"> ○ アセスメントの一環として、心理検査を全員行っています。 ○ 成長や、家族環境等のことも含めた取り組みを継続していこうという施設の思いも確認できましたが、課題の把握や解決の取り組み等が明確にされていないアセスメントになっていました。今後課題の把握を行い、解決できるような取り組みが必要と思われれます。 		

A-2-(10) 施設と家族との信頼関係づくり		
A⑳	A-2-(10)-① 施設は家族との信頼関係づくりに取り組み、家族からの相談に応じる体制を確立している。	a・(b)・c
<p><コメント></p> <p>○ 家族支援専門員や児童担当職員が家族との関係づくりの支援を行っていることが確認できました。</p> <p>○ 保護者等相談に関しては子ども家庭センターが中心になり行われるため、施設の意見や思いをすり合わせていくことが重要です。</p>		
A-2-(11) 親子関係の再構築支援		
A㉑	A-2-(11)-① 親子関係の再構築等のために家族への支援に積極的に取り組んでいる。	a・(b)・c
<p><コメント></p> <p>○ 家庭復帰等に関する取り組みは、子ども家庭センターが窓口になるため、施設の取り組みとの連携が重要です。</p>		
A-2-(12) スーパービジョン体制		
A㉒	A-2-(13)-① スーパービジョンの体制を確立し、施設の組織力の向上に取り組んでいる。	a・(b)・c
<p><コメント></p> <p>○ スーパービジョンは心理士を中心に行われていて、スーパーバイザーの研修に参加していることは確認できましたが、スーパーバイザーに関する研修の取り組みが確認できませんでした。スーパービジョンの在り方を整理し、取り組むことが望まれます。</p>		

